

広 報

かわち

人口と世帯数

人口… 12,204人

男 … 5,747人

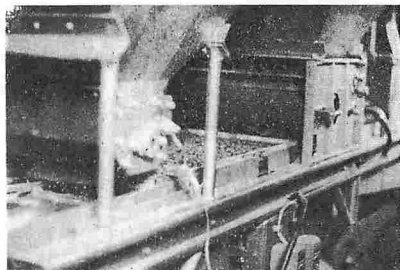
女 … 6,457人

世帯… 2,493戸

(5月1日現在)

発行所 河内村役場 編集 産業開発課広報係 TEL (河内)3番・44番

発行日 昭和47年5月10日 印刷所 竜ヶ崎印刷所

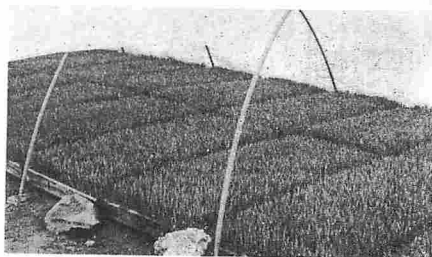


《写真は》

左上 播機による種まき作業

右上 混合機による床土と肥料の
混合作業

左下 育ちも良好ハウス内の稚苗



近代農業経営は

共同育苗施設から

農作業のなかにもまだまだ解決していかねばならぬ課題がたくさんある。そのなかでも構造改善事業はぜひとも必要であろう。部落内にさまざまな声はあったが、地元議員、区長の努

力です。手栗協議組合を結成し、近代化された「育苗施設」がつけられ活動が始まった。協議というシステムのなかで、組合員は竜ヶ崎地区農業改良普及所員の技術指導をうけながら、毎日を楽しんでいる。

苗の育成は良好、との専門家の話し、近隣の人も施設を視察し感心していた。

施設活用初年度なので、品種は「コンヒカリ」と「トロキワセ」の二種、それぞれ五畝の育苗を実施したが出来のよい苗をみて、組合員は希望に胸ふくらませている。36畝の稼働力をもつこの施設、組合員のみならず地域農家の新しい農業経営の「いぶき」になろうとしている。

1972

5月号

No. 82

一般会計 総額 4億6千73万円

47年度予算の概要は

昭和四十七年度予算などを決める定例村議会が三月十日から十六日までの七日間にわたって開かれ、各会計の新年度予算と各種条例一部改正など一〇議案が審議され、原案どおり可決されました。

予算編成の

基本方針

地方税制改正にともなう減税により、当村財政の著しい伸びは期待されず、また、国税の伸び悩みから地方交付税も昨年比6.9%の伸びにとどまり、昨年の20.9%に比較すると極めてきびしい状況下にあります。このため政府において特別の財政措置を講じて対前年伸び率19.6%を確保できる見通しとなりました。

このような状況下においても、ただちに諸経費の切り詰め（特に投資事業の抑制によって）当面する課題を切りわけるとは許されない時代となっておりやむを得ず。

当村も勿論この例外ではありません。すなわち当村の本来の課題である生活関連社会資本の整備充実果さなければなりません。村、県道の舗

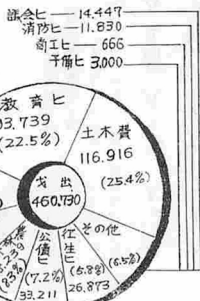
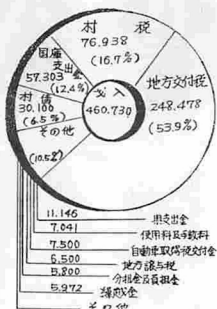
装しかり、学校橋の建設、総合グラウンドの整備、交通安全施設の整備拡充など……

村税は昨年より11%増の9千6百99万8千円を計上、村税のうち村民税は個人において約12%増、法人は10%の減を見込んでおります。固定資産税は約11%増、軽自動車税は横ばい、煙草消費税、電気ガス税は各々昨年度に比し1百万円づつを増加計上しました。

地方譲与税（自動車重量税と税）は昨年の12月より施行されたものでありまして、本年は昨年の決算見込額の約3倍にあたる6百50万円を計上しました。

自動車取得税交付金は昨年並の7百50万円を計上。地方交付税は11.4%増の2億4千8百47万8千円を計上、ただし、本年は地方交付税に土地開発基金（昨年は1

一般会計 収入



千6百万円）が含まれませんのでこれを除くと19.6%の増となり本年度の交付税の金額を計上したことになります。国庫支出金は昨年より1千6百万円増の5千7百30万3千円を計上、これは学校橋架替補助金の増額及び児童手当国庫負担金によるものです。県庫支出金は昨年より約9百万円増の1千1百14万6千円を計上、これは農村水産費の補助増額と児童手当負担金によるもの。諸収入は昨年より40%増の9百66万円を計上しましたがこれは昨年の実績より推計したものであります。

《才 出》

特別会計

《国保会計》

△事業勘定

議会費、昨年度より4百18万9千円の増ですがこれは人件費の増によるもの。
 総務費、昨年度より5百99万3千円の増で、これも人件費の増によるもの。
 民生費、昨年度より約9百万円の増で、これは児童手当3百89万4千円が主なもの。

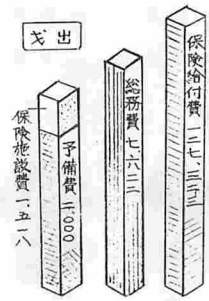
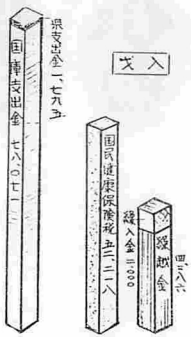
その他には金江津保育所のフェンス工事、天井扇購入費、長年保育所のピアノ購入費などの1百万円などが計上されています。
 衛生費、他会計への繰出金5百50万円（国保会計2百万円、直診勘定1百50万円、水道会計2百万円）と、し尿採取委託料2百22万円、竜ヶ崎地方衛生組合負担金1百10万円、鹿芥収果料2百16万円、竜ヶ崎地方衛生組合負担金6百67万3千円などが主なもの。

農林水産業費、主なものとは農協合併補助金3百50万円、すでに完了されている農道舗装の借入金利息4百47万1千円、同借入金負担金4百16万8千円などです。
 なお、本年度は約7千7百80万円の農道舗装を計画しております。

才入では、保険税が医療費の12%引上げと75才以上老令者医療手当金が10割給付などにより14.3%アップ6百54万2千円の増、国庫支出金の

土木費、県道工事地元負担金6百25万円、村道舗装工事請負費3千8百36万3千円、学校橋梁警工事代6千万円などが主なもの。
 消防費、貯水槽工事費63万円、防犯灯設置費15万円、可搬式ポンプ購入費42万5千円、ホース、筒先等購入費1百9万2千円などが主なもの。
 教育費、総額1億3百73万7千円の内訳は、教育総務費7百82万2千円、小学校費2千9百7万6千円、中学校費2千4百26万4千円、幼稚園費5百58万2千円、社会教育費1千3百5万9千円、保健体育費2千4百13万6千円で、長年小のプール建設費9百30万円、金江津中増築工事請負費6百9万1千円、総合グラウンド整地費1百万円などが主なもの。

21%アップ1千3百71万円の増、県支出金で老令者医療手当金補助1百70万8千円の増が見込まれています。
 才出の主なもの、は、療養給付費1億1千8百16万9千円、療養費3百5万6千円、助産費1百30万円、老令者医療手当金3百34万3千円などが主なもの。



△直診勘定
 直営診療施設勘定才入才出予算の総額は2千7百9万2千円で、前年度当初予算に比し3百95万円の増額となります。

1千9百83万5千円、繰入金1百50万円（レントゲン購入費）諸収入60万円などです。
 才出の主なものは、総務費1千7百99万7千円、医療費9百9万5千円などです。

《水道会計》

45年度決算額、46年度決算見込額を算出基として、更に2月1日実施の医療改訂による値上り分平均10.9%を加算計上したものであります。
 才入の主なものは入院収入5百4万9千円、入院外収入

款	金額
県支出金	6,071
計	6,071
常総船橋費	6,041
予備費	30
計	6,071

《常総船橋費》

収益的収入、支出は総額2千9百20万4千円で、収入の営業収益が2千7百15万4千円、営業外収益が2百55万円、支出の営業費用は2千3百80万4千円、営業外費用5百40万円となっています。
 資本的収入は、損益勘定留保資金（収益的収入の中に含まれる）で補てんされ、資本的支出は建設改良費で2百27万円、企業債償還金が2百80万円が見込まれています。

選ばれた私たちの代表

現12人 元4人 新4人

3月号を休刊したためお知らせがたいへん遅れ申し訳ございませんが、去る2月に行なわれた村議会議員選挙に

おいて当選された新議員をご紹介いたします。
なお掲載は得票順で、カッコ内は得票数です。



大野 新右衛門 (59)

中金江津 現
会社役員 (四九八)



細谷 武男 (38)

上金江津 現
建設業 (四七九)



賀正幸 (38)

中郷新
農業 (四五二)



沼崎 正 (57)

堀割元
医薬品販売業 (四二七)

○当日の有権者

男……三、九〇三人
女……四、二九八人
計……八、二〇二人

○投票者数

男……三、五七五人
女……三、九五八人
計……七、五三三人



桜井 信 (43)

下金江津 新
農業 (四二四)



秋山 千晴 (44)

古通新
神官 (三三二)



篠崎 七郎 (54)

保村 現
建設業 (三五〇)



川村 貞郎 (55)

小林町歩 現
農業 (三三八)

議長岡田氏 副議長川村氏

村議会の構成は 8 (総) 6 (経) 6 (文)

○開票の結果

有効……七、四四一票
無効……九二一票
(投票率九一・八四%)

改選後初の村議会において正・副議長の選出と各常任委員会委員の選任が行なわれ、議長に岡田彰吉氏、副議長に川村貞郎氏が選ばれました。なお、常任委員会の構成は次のとおりです。

▽総務委員会

委員長 篠崎 七郎
副委員長 大野新右衛門
委員 野沢 彰

小更 敏夫
板井 信
岡田 彰吉
川村 貞郎

▽経済委員会

委員長 細谷 武男
副委員長 大野 豊彦
委員 福智 栄

成毛 福守
小更 実
広 沢 憲

▽教育、厚生委員会

委員長 桑原 茂
副委員長 飯塚喜治夫
委員 沼崎 正

秋山 千晴
雑賀 正幸
岡野 四郎



桑

小

小

大

岡

広

原 下加納 茂(50)
 雑貨品販売 (二六七)

更 敏 夫(52)
 愛宕町 現
 農業 (二六八)

中 更 実(47)
 業 上 現
 (二七二)

野 豊 彦(51)
 関場 現
 農業 (三一五)

野 四 郎(42)
 片巻 新
 業 (三七)

田 沢 憲(64)
 川 元
 業 (三三三)



野

飯

岡

成

内

福

沢 彰(57)
 小巻 現
 業 (二三〇)

塚 喜 治 夫(55)
 宿 元
 業 (二三四)

田 彰 吉(55)
 高 現
 業 (二四八)

毛 福 守(43)
 羽子騎 現
 業 (二五五)

田 喜 男(48)
 手 栗 現
 業 (二五六)

大 智 栄(54)
 鍋 元
 業 (二二〇)

第一回定例

村議会から

○ 河内村固定資産評価審査
 員会の委員に前議長の大野忠
 が選任された。

○ 青少年相談員と土地分類
 調査員に日額報酬九百元が支
 払われることになった。
 ○ 保母に一千五百円の特殊
 勤務手当が支給される。

○ こみ、ふん尿等の収集運
 搬手数料の額と徴取方法など
 が決められた。

普通世帯 月額 一〇〇円
 商店 二〇〇円
 飲食店 三〇〇円

学校病院等 四〇〇円

○ 水道給水条例の一部が改
 正になり、専用(一般用、営
 業用)、共有水道料金の基本
 料金が一月につき使用料一
 〇立方メートルまで五〇〇円(専用
 のみ)に、超過料金は使用水
 量一〇立方メートルをこえる一立方
 メートルにつき四〇円とされた。

○ 四六年度一般会計予算の
 補正があり、土木費、教育費
 総務費など総額二、五六九千
 円を追加し、四五八、三八四
 千円となりました。

なお、同時に審議された各
 会計新年度予算は別項(二、
 三頁)を参照して下さい。

昨年比八・五%増 事前売渡し限度

生産調整減反は 八%の減

昭和四十七年度の米生産調整目標数量と政府買入予約限度数量が決りまし。

四十七年度産米の事前売渡し申込み限度数量が七、五九六トン（昨年は六、九九九トンで八・五%の増）また、生産調整目標数量は四二七ha二、〇〇四トン（昨年は五一七ha二、一七三トンで八%の減）となっています。

なお、奨励補助金の額は昨年と同額で交付条件等は次のとおりです。

○補助金の交付条件

奨励補助金は次の要件を満たすものに交付されます。

1、四十七年度に水稲の作付けが可能な水田。

2、通年施行に係る水田。

3、四十四年度に稲作の作付けが行なわれた水田で、その後つづけて休耕または転作桑を植つた水田。

4、四十七年一月三〇日現在において農地法に係る転用売渡しに関する手続きをした水田でないこと。

○調整水田の種類

- 1、休耕
- 2、寄託休耕（二年以上五〇アール以上）
- 3、農地保有合理化法人五年以上
- 4、普通転作
- 5、特別転作（集団水稲植物その他）

月額100円で環境美化

ゴミは袋に入れ 指定収集場所に

○申請及び確認

申請書は五月末までに役場産業開発課まで提出してください。村では確認委員が八月一日付をもって現況確認を行ないます。（転作については収穫時期）

なお、皆様のご協力によりまして、昨年は目標を達成することができました。本年も割当目標達成のため一層のご協力をお願いいたします。

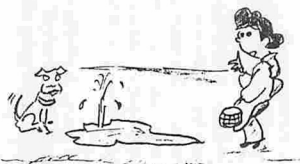


日ごとにふえる「ゴミ」、川沼地や空地にみだりに投げすて公害の原因になっております。

村では、昭和四十六年七月から竜ヶ崎地方廃芥処理組合（竜ヶ崎市、牛久町、利根町、

漏水は水不足の敵

発見したらすぐ連絡を



これから水の需要が多くなる季節にむかいます。現在、村の水道は需要を充分満たすだけの水量はありません。加えて、年間七万五千トンの漏水があり、ますます水不足が心配されます。道路に水が吹き出ていたらすぐ役場の水道係にお知らせください。また水道の蛇口はよくしめましょう。

りのために皆様のご協力をお願いいたします。

警察官募集

今、茨城県警察では警察官を募集しています。

採用人員 50名

採用予定日 本年10月1日

受験資格 昭和19年4月2

日から29年4月1日まで

に生れた男子

試験日 第一次試験を6月11日に土浦警察署で行い、第二次試験を7月中旬に茨城県警察学校で行ないます。

（竜ヶ崎警察署）

しかしながらまだ加入されない家もあり、村内の川辺や空地には紙、木屑や金屑等が投げすてられ、自然の環境がそこなわれています。一ヶ月わずか百円の料金で周囲がきれいになるのです。全戸加入して住みよい村づく